

横浜市記者発表資料

令和2年7月13日
消防局都筑消防署

救急活動中における傷病者へのAED装着の遅延について

1 概要

令和2年7月12日（日）の救急出場において、先着した川和消防隊が、AEDパッドを傷病者宅の玄関先に落としたことに気付かなかったため、傷病者に対するAEDの使用開始が約5分遅れるという事案が発生しました。

なお、接触時、傷病者は心肺停止状態であり、胸骨圧迫など救命処置を実施しましたが、医療機関搬送後、お亡くなりになられました。

2 指令日時

令和2年7月12日（日） 20時37分

3 指令場所

都筑区内

4 傷病者

50代男性のA様（医療機関搬送時：重篤）

5 遅延の経過

川和消防隊と都筑救急隊は、指令を受け都筑区内の事案に出場しました。現場に先着した川和消防隊は、傷病者に接触し観察したところ、心肺停止のため直ちに胸骨圧迫を開始しました。併せて、AEDを準備しましたがAEDパッドがないことに気が付き、捜索した結果、傷病者宅の玄関先にAEDパッドが落ちているのを発見しました。直ちに傷病者に装着しましたが、適用外であり、都筑救急隊と連携し傷病者を搬送しました。

20時37分 出場指令

20時44分 川和消防隊現着

20時46分 消防隊長傷病者接触 心肺停止のため胸骨圧迫開始

20時47分 消防隊員傷病者接触 AED準備 AEDパッド確認できず

20時49分 都筑救急隊現着

20時51分 AEDパッド発見 傷病者に装着 都筑救急隊傷病者接触

20時52分 AEDに接続（適用外 ショック不要）

21時06分 搬送開始

21時12分 病院到着

裏面あり

6 傷病者の御家族への説明

A様の御家族に対し、当該事案の経過を説明するとともに、AED装着が遅延したことの謝罪を行いました。

7 搬送先医療機関医師の見解

搬送先医療機関の医師からは、AED装着の遅延と死亡の因果関係については不明との見解を受けています。

8 今後の対応

本事案をしっかりと検証し、再発防止策を講じます。

佐々木 功喜都筑消防署長のコメント

お亡くなりになりました傷病者様、またご家族に対しまして心よりお詫び申し上げます。

今後、このようなことが二度と起こらないよう本事案を検証し再発防止の徹底を図ってまいります。

お問合せ先

消防局都筑消防署副署長 堤 康弘 Tel 045-945-0119